



鏡野町長  
山崎 親男

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、町政各般にわたりご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。さて、昨年を振り返りますと、8月に日本列島を縦断した台風7号は、鏡野町にも町の北部を中心として甚大な被害をもたらし、住民生活や地域経済に大きな爪痕を残しました。自然災害に対する平素の備えと地域における助け合いの必要性を認識したところですが、未だ災害からの復興の道半ばであり、被災された方にはご不便をおかけしていますが、国県をはじめとした関係機関と協力の下、復興作業を進めてまいります。また、一昨年からロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢悪化等の影響により、世界情勢は不安定で経済は下振れをはじめとした消費後物価の高騰が長引いています。鏡野町では、様々な方面から住民の皆様の生活と地域経済の活性化のための支援策に取組んでまいりました。令和6年度におきましては、「健康づくりの推進」「地域福祉の推進」「子育て支援の充実」を重点施策として位置づけ、将来にわたって「活力ある地域社会」「住み続けたいかがみの」の実現に向け各種事業に取組んで行くことといたします。

コロナ禍によりコミュニケーション機会が少なくなり、人と人との関係が希薄になり孤立・孤独への不安が高まっています。

地域づくり協議会をはじめ、町内93の地区、老人会や子ども会などの団体活動への支援と独居・高齢者等への支援などにより、地域コミュニティの再生とコミュニティ機能の充実を目指してまいります。

公共施設の整備ですと、本年4月には、町民アンケートを通じて地域住民の方からご要望のありました、幼児向け遊具、児童向け遊具、健康遊具を備えた幅広い年齢層に親しまれる「鏡野ふれあい運動公園」を竹田地内にグラウンドオーブントいたします。

国民健康保険病院の建替工事につきましては、地域のみなさんが安心して暮らせるための拠点として令和10年度開院に向けて本年中に工事へ着手する予定とされています。

また、地域の課題解決のための自主活動をすすめる「地域づくり協議会」の活動の場でもあり、生涯学習、高齢者の健康づくり、災害時には避難所としても利用される、まさに地域の活動拠点である各地区公民館の利便性、安全性向上のための取組みも予定しているところです。今年の干支は「甲辰」です。「春の日差しが、あまねく成長を助く年」と言われる縁起の良い年です。

鏡野町の花の竜胆は竜の胆と書きまします。昇竜という言葉がありますように、今までの町の政策が実を結び成長し発展し続けるように、町民の皆様方とともに課題解決に取組んでまいります。

結びに、新たな年が皆様にとりまして、健康で幸せな年になりますことを心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。



# 新年のごあいさつ



鏡野町議会議長  
原 章倫

新年、あけましておめでとうございます。

令和六年の輝かしい新春を迎え、鏡野町議会を代表し、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、常日頃から町議会に對しまして、温かいご支援とご理解を賜り、議員一同、心から感謝申し上げます。

コロナ禍が少しずつ収束に向かう中、緩やかな回復が期待される一方で、物価高騰、人手不足が生活や経営を圧迫しており、景気回復の鈍化が懸念されています。

さらに、ウクライナや中東情勢、為替変動の影響などにより、今後も予想される厳しい状況が続くことが予想され、地域の生活・経済を守るために、行政と議会が総力を挙げて取組むことが必要です。

こうした中、昨年の町議会の活動を振り返ってみますと、8月には台風第7号による記録的な大雨で甚大な被害が発生しました。現地視察を行い、13億6千万円規模の災害復旧関連予算を承認いたしました。一日も早い復旧に向けて取組んでいくとともに、防災・減災対策の充実強化も図っていきたいと考えております。

また、12月には議会ハラスメント防止条例を可決いたしました。ハラスメントの防止・根絶に議員自らが取組み、良好な職場環境を確立することで、議員及び議会としての役割を十分に果たして、信頼される議会の実現を

目指してまいります。

町民と議会との意見交換会では、町政全般、議会活動に対し、様々なご意見をいただきました。委員会での協議、町長への提言、一般質問など、議会、議員の活動に生かしてまいります。ご意見を寄せてくださった皆様、誠にありがとうございます。

ご承知のように、現在、少子高齢化の進展に伴う人口減少や景気停滞による財政悪化など、町政を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。一方、持続可能な社会の実現に向け、行政課題や町民の皆様へのニーズは多様化・高度化しており、議会機能の向上も求められています。

時代に対応した議会活性化を図るため、特別委員会を立ち上げ、議員定数等について、町民の方々、専門家の意見も伺いながら、調査・研究、議論を重ねてまいりましたが、次回選挙から議員定数を15人から13人に削減すると結論に達しました。引き続き、町議会に對しまして、ご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この新しい年が皆様にとりまして、幸せで実り多い、希望に満ちた年となりますことを、議員一同、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

